

## 校長雑感

### ○知らない世界はまだたくさん

最近興味をもって視聴している番組が、某局の「解体キングダム」という番組です。

日本では今、建物だけでなく、道路や橋、送電線鉄塔などのインフラも交換の時期を迎え、各地で大規模な解体工事が行われています。建築工事の場合は新しい建物ができるので周囲の人も割と受け入れてくれると思いますが、解体工事の場合、ただ建造物を解体するだけなので、粉じんや騒音に対して周囲の人たちの視線が厳しくなりがちです。場合によっては、迷惑と受け止めている人たちもいるかと思いますが。そうした中、現場で作業されている方々は、いかに周囲に迷惑をかけず解体するかに心を砕いているかを知りました。

私が視聴した内容には、『高さ 150m の巨大煙突の解体』（煙による周辺環境への影響を減らし、巨大地震でも崩れない堅固さが皮肉にも解体する上では難関として立ちはだかり、さらに、強い風にさらされ、足場も組めない高所での解体作業）、『路面電車が貫通するビルの解体』（路面電車が建物の中を走り抜けるビルの解体において、その個性が逆に難関として立ちはだかり、重機の使用が制限される中、路面電車の運行をとめることなく行う解体作業）などがありました。

粉じんを抑えるため散水を徹底する、極力工期を短くする、寝静まる時間に大きな音の出る重機を使わない等、本当に周囲に気を遣っていることがわかります。そして、一番驚いたのが、「解体工事の技術力の高さ」です。建造物を解体するにあたり、どう解体するかをここまで細部にわたり計算をして解体しているとは思っていませんでした。階上解体の際、何台ビルの上に重機を載せられるのか、どうすれば周囲や作業者の安全を確保して作業できるのか等を、緻密（ちみつ）に計算して作業設計を組み立てていることがわかります。また、解体する建物ごとに解体方法を変える必要があることにも驚きました。建物の構造、作られた時期、使われているコンクリートの質や鉄筋の量、周囲に足場を組めるスペースがあるかなどによって、現場ごとに解体方法を試行錯誤し、チームで作業していることがよくわかります。丁寧にそして妥協せず作業している姿には、その仕事への誇りとやりがいを感じます。そして、自分の知らないことはまだまだたくさんあり、新たに知ることは面白いことだと感じています。

### ○犯罪に巻き込まれない 自分事と捉えて

SNS 上の情報を元に犯罪（いわゆる「闇バイト」）に手を染める若者が社会問題化しています。犯行にかかわった若者の中には、10代の中高校生もいるとのこと。どのような背景があったのかは知りませんが、こうなる前に踏みとどまることはできなかったのか、誰かに相談できなかったのかと思います。同時に SNS などの危険性や情報モラルについて学ぶ必要性、簡単に高収入をもらえる仕事やアルバイトの危険性、犯罪と刑罰などの非行防止などについて、家庭、学校、地域でも伝える必要があると考えさせられます。

警察庁は、犯罪実行者募集情報には、次のような特徴があるとしています。

- ・ X（旧ツイッター）等の SNS で「高額」「即日即金」「ホワイト案件」等、「楽で、簡単、高収入」を強調する。
- ・ シグナルやテレグラムといった匿名性の高いアプリに誘導して個人情報を送信させ、脅迫する。

顔も知らない人との SNS でのやりとりの危険性をあらためて考えて欲しいと思います。そして、このようなことに限らず、困ったときは一人で抱え込まず、事が大きくなる前に早めに誰か、どこかに相談することも大切なことです。

## 県秋季大会

陸上部 11月3日 津山陸上競技場



卓球部(個人) 11月9日 和気町体育館



## 参観日・PTA講演会 11月14日

道徳の参観授業のあと、PTA研修部主催の講演会を行いました。今年度は講師に新田佳浩さんをお招きし、努力すること、チャレンジすることの大切さなどについてお話をいただきました。



## 避難訓練 11月18日

消防署の方の指導のもと、避難訓練と消火訓練をしました。



## ふれあい保育体験 11月20日

3年生が乳児とのふれあいや妊婦体験、保護者の方へのインタビューなどをしました。

